



気仙沼市の高校生と交流する下中生

があり、生徒からは、現地への訪問などから学んだことやその後の活動へ活かしてきたことなどについての報告がありました。

今年3月に卒業した下妻中学校卒業生は、東日本大震災の東北地方の被災地について学習し、2年生時の現地への訪問などを通して被災者との交流を進めてきました。この活動の中で生徒たちは、震災により失われたもの、そして復興に向けた人々の取り組みについて見識を深めてきました。

卒業式前日は、宮城県気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館の佐藤館長や、震災の語り部として活動する地元高校生とオンラインでの交流を行い、佐藤館長からは卒業のお祝いのメッセージがあり、生徒からは、現地への訪問などから学んだことやその後の活動へ活かしてきたことなどについての報告がありました。

下妻中学校生の取り組み

3月10日

東日本大震災被災地との交流

温かい善意ありがとうございます



左から小幡事務局長、赤荻会長、菊池市長

いばらきコープ生活協同組合が 反射材付きランドセルカバーなどを寄贈

3月29日、子どもたちの安全を願い、いばらきコープ生活協同組合から小学校の新1年生全員に、ランドセルカバー 350枚とランドセル2個が寄贈されました。



左から大輪下妻支店長、菊池市長、横瀬教育長

下妻青年会議所がシトラスリボンステッカーを寄贈

4月12日、下妻青年会議所が市内小・中学生に「シトラスリボンステッカー」を寄贈しました。「シトラスリボンプロジェクト」は、新型コロナウイルスに感染されている方などへの差別をなくすため、愛媛県の有志グループが始めた取組です。

野村尚仁理事長は、「これをきっかけに、コロナへの意識が変化し、コロナ差別がなくなるよう願っています」と話しました。

下妻地区交通安全協会が反射材付き黄色傘を寄贈

3月26日、下妻地区交通安全協会から小学校の新1年生全員に、反射材付き黄色傘350本が寄贈されました。同協会の赤荻三郎会長は、「子どもたちが安全に登下校し、下妻市から子どもたちの交通事故がなくなることを願っています」と話しました。



左から鶴長理事長、菊池市長、横瀬教育長、飯島理事

常陽銀行が防犯ブザーを寄贈

3月29日、常陽銀行から小学校の新1年生全員に、防犯ブザー 350個が寄贈されました。防犯ブザーは、常陽銀行の地域貢献活動の一環として、2005年から毎年寄贈されているもので、今年で17年目となります。



左から下妻小学校国府田校長、野村理事長

有料広告欄



入学式に臨む新入生たち（東部中）



呼名に起立する新入生（東部中）



担任の先生の説明を聞く新入生（総上小）

春風に押されて新たな一歩

市内小・中学校で入学式 4月7日

市内小中学校で入学式が開催され、9小学校で321人、3中学校で336人の新1年生がそれぞれの校門をくぐりました。

各校では、新型コロナウイルス対策のため椅子の間隔を広く取り、また、参加者を限定して実施しました。この中で、総上小学校や東部中学校では、緊張の面持ちで児童や生徒たちが式に臨んでいました。



在校生からの歓迎の言葉（東部中）



背筋を伸ばして起立する新入生（総上小）

教育行政 問 学校教育課 ☎ 44-0740 FAX 43-9608

教育委員の再任



あかぎ ゆみ
赤荻 由美さん

赤荻由美さん（若柳乙）が、第1回市議会定例会で同意を得て、教育委員会委員に再任されました。

任期は、令和3年4月1日から令和7年3月31日までの4年間です。

赤荻さんは、長年にわたり児童・生徒の教育相談や子供についての悩みを持つ親や保護者からの家庭相談に関する相談員としてご尽力され、現在は、広く生涯学習の振興にも携わっておられます。今後も、豊富な経験と見識を活かして、本市の教育の振興、文化の向上のため更なるご活躍が期待されます。

有料広告欄